

愛知県感染症情報

平成 12 年第 11 週 (3 月第 3 週)

(コメント)

細菌あるいはウイルスなどの病原体による感染性胃腸炎は、定点当たり 9.7 人から 12 人と増加傾向にあり、先生方からのコメントにもロタウイルスによる報告が多く見られます。

A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎、水痘は、依然流行しています。

(先生方からのコメント)

- ・ ロタウイルス (+) 多いです (下痢回数は少なめの子が多い)
(豊橋市 富田小児科)
- ・ 乳幼児に胃腸炎及びロタウイルス腸炎 (多くはない) あり
(田原町 かわせ小児科)
- ・ ロタウイルス 7 名 (1 才男 3 名、1 才女、2 才男、2 才女、3 才女)
(岡崎市 医療法人深田小児科)
- ・ カンピロバクター 12 才
(幸田町 とみた小児科)
- ・ カンピロバクター 12 才男
(岡崎市 にいのみ小児科)
- ・ 感染性胃腸炎 2 才男及び 2 才女いずれもロタウイルス (+)
(岡崎市 小児科延寿堂杉浦医院)
- ・ ロタと思われる白色便児依然多い
(岡崎市 花田こどもクリニック)
- ・ インフルエンザ 12 名 (男 8 名、女 4 名)
(岡崎市 医療法人永坂内科医院)
- ・ 病原性大腸菌 0-6 3 才女
カンピロバクター 5 才男
(岡崎市 医療法人川島小児科水野医院)
- ・ 乳幼児の嘔吐、下痢が多く見られます。
(西尾市 やすい小児科)
- ・ 引き続き乳幼児 (1 ~ 2 才主体) のロタウイルス感染症が目立ちます
(碧南市 永井小児クリニック)
- ・ 感染性胃腸炎ロタ (+) 3 名 (~ 6 ヶ月女、1 才男 2 名)
(知立市 近藤こどもクリニック)

- ・ 病原性大腸菌 0-166 (1才女)
 (豊田市 星ヶ丘たなかこどもクリニック)
- ・ マイコプラズマ肺炎多し
 (豊田市 やふそ小児科)
- ・ インフルエンザ流行終了
 水痘、ムンプス散発、乳幼児嘔吐下痢症流行中
 マイコプラズマ感染症幼児、学童、成人共に増加傾向です。
 (尾張旭市 医療法人誠和会佐伯小児科医院)
- ・ ウイルス性胃腸炎(乳幼児はロタ陽性)が多く見られます。A型インフルエンザは10名。溶連菌感染症が増えはじめました。
 (瀬戸市 津田こどもクリニック)
- ・ インフルエンザはほとんど見なくなりました
 感冒性腸炎の大部分はロタ(+)です
 ウイルス(アデノ)によると思われる肺炎で入院例あり
 MCLS 1~2例あり
 (小牧市 小牧市民病院)
- ・ ロタウイルス腸炎が多く、麻痺性イレウスを起こす症例もかなり見られます
 (小牧市 志水こどもクリニック)
- ・ 2才男と13才女の姉弟例の溶連菌感染症がありました
 (春日井市 かちがわ北病院)
- ・ ロタ胃腸炎が多発しています
 (春日井市 朝宮こどもクリニック)
- ・ マイコプラズマ 38才女
 (師勝町 師勝クリニック)
- ・ 全年齢で感染性腸炎が多い。(今週は学童が目立ち)1才前後の例で入院例あり。
 (一宮市 あさのこどもクリニック)
- ・ 2月22日にインフルエンザ症状(高熱、四肢筋痛)で来院した。A迅速反応(-)であった患者からH1にてB型×512の抗体価を証明しました。糞便ロタウイルス抗原陽性者1才女子1名、糞便アデノウイルス抗原陽性者成人男子1名、病原性大腸菌 0-18 陽性者1才女子1名、全身紅色発疹、莓舌、咽頭にてA群 溶連菌陽性5才男子。
 (尾西市城後小児科)
- ・ 急性胃腸炎多し、発熱2日伴うものが多い
 (岩倉市 なかよしこどもクリニック)

- ・ 嘔吐下痢症が相変わらず流行しています。溶連菌感染症は減少してきています
(江南市 みやぐちこどもクリニック)

(1～3 類感染症の発生状況)

細菌性赤痢患者 1 名。

岡崎保健所管内在住の 66 才女性。3/15 発病、3/16 初診、3/18 診定。

菌型は、フレキシネル 2a。

(全数把握の 4 類感染症の発生状況)

AIDS 患者 1 名

急性ウイルス性肝炎患者 1 名

マラリア患者 1 名

第 9 週 (平成 12 年 2 月 28 日 ~ 3 月 5 日) の 4 類感染症の全国状況

インフルエンザは定点当たり報告数が順調に減少しており、今シーズンの流行はこのまま終息に向かうことが予想される。A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎、水痘の定点当たり報告数が例年の同時期より多い。A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎は鳥取県で依然流行しており、今週の定点当たり報告数は 7.2 となっている。感染性胃腸炎は前週よりも患者報告数が増え、過去 10 年間で最大の流行曲線を描いている。患者の年齢階級別では 1 歳以下が全体の約 4 分の 1 を占め、ピークは 1 歳にある。水痘は沖縄県の定点当たり報告数 5.7 を最高に、九州地方や静岡県などで患者報告数が多くなっている。麻疹は依然大阪府と千葉県で流行がみられ、患者報告数が多くなっている。非流行期の咽頭結膜熱の定点当たり報告数も例年より多くなっている。

(Infectious Diseases Weekly Report より抜粋

厚生省感染症研究所感染症情報センター感染症情報室提供)